

KTK
NO.110

あらぐさ通信

編集 集 あらぐさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらぐさ後援会

なかまの交流会



今年度、きょうされん京都支部の口乙ブロックでは、なかまの交流会の動画視聴を行いました。昨年度はコロナの影響で皆が集まっていたの交流会が実施できませんでしたが、集まれない中で、交流できる手立てを考え、各事業所での様子を動画にまとめることになりました。

その動画を各グループで視聴しました。自分たちの映っている姿に盛り上がり、他の事業所の様子に真剣な眼差しを向けられていました。

今までと違うかたちでの交流になりましたが、普段見られない姿などを見ることが出来たのは貴重な機会でした。また、直接会ってなかまの交流会ができるようになることを願っています。

訂正とお詫び 前号「あらぐさ通信 No.109」の記事(表紙)の中で、「U. I. no coffee」の営業時間に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

1頁 誤) 営業時間は平日の8:30~17:30

正) 営業時間は平日の9:00~17:00 (2021年7月現在)

「U.I.no coffee」は、“障がいのある人もない人も共に安心して集まれるカフェ”です。おいしいコーヒーや軽食を楽しみながら、癒しの時間をお過ごしください。

家族仲良く、みんなで楽しく生活

美智恵さんは41歳です。長五小の近くでお母さん、妹さんご夫婦、愛犬チャボと仲良く暮らしています。あらぐさでは染色の仕事をしています。

おいたち

八幡市で生まれ、3100gありました。美智恵さんはダウン症の障がいがあります。1歳3カ月と3歳3カ月の時「心臓手術をしないと寝たきりになる」と言われ、京大の紹介で武田病院において治療。その後週1回、向日が丘療育園へはタクシーの送迎で通い、地域の保育所にも通所。八幡市は障がいのある子どもの医療や発達などの取り組みが積極的で吉祥院病院の先生が相談のために来てくれました。桃山養護学校に入学を決めていましたが、「歩行が十分でない」と言われました。

向日が丘養護学校に希望変更し入学へ

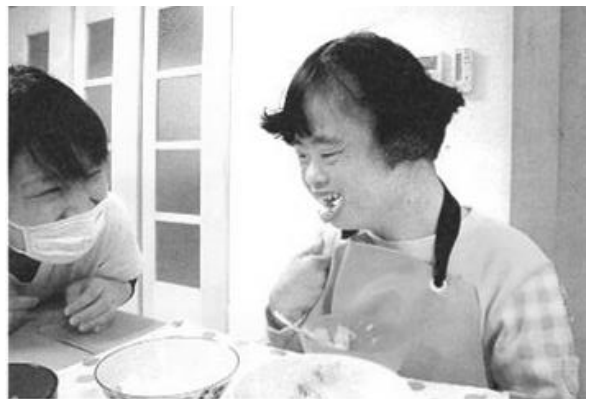
就学決定後、長岡京市に転居。K先生が学校近くの家を紹介してくれました。M先生には「しっかり自分で歩く力をつけなさい」と励まされ、スクールバスを使わず、自宅から学校まで親子で徒歩通学を続けました。

入学当初、小柄な美智恵さんは一人でとても不安気に座り込み、ハンカチを噛んでいる様子が見られました。担任の先生たちは教室の体制を考え、一対一で丁寧に美智恵さんに関わることになりました。徐々に表情が明るくなり、コミュニケーションの力もつき、自分から要求が出せるようになっていきました。半年も経つと、自分で意欲的に立ち上がり、歩けるようになりました。

夏休みの長期休暇は、障がい児学童『わっしょいクラブ』に参加し、お母さんたちと力を合わせて運営しました。指導員不足の時京都市内の大学に募集ピラをまきに行ったこともありました。Sさんのお世話で始まった土曜日保育もたくさんのお母さんと

一緒に取り組みとても楽しかったです。

5年生の春、大変なことが起こりました。学校で頸椎を損傷するという大事故にあい、高槻医大病院に入院。2番目の頸椎がずれ、首にお尻の骨を移植するという大手術をしました。同じ病棟に、マットで前転運動した際に頸椎を損傷した子もいました。担当医から「ダウン症の子は頸椎が弱く、もう少し重症だったら命が危なかった」と告げられました。入院中には、伯父さんが小学2年生の妹千鶴恵さんを上植野の祖母宅から長三小への送迎をしてくれました。学校では、担任を中心に体制が組まれ、毎日病室の美智恵さんの様子を見守り続けました。術後、首の固定装具を着けるなど大変苦しい生活が続きましたが、何とか頑張って耐え8月末に退院できました。お母さんは「美智恵は本当に強い子だ!」と思ったそうです。



高等部では、1年間寄宿舎生活を経験。夜寝ない時、周りの友だちが付き合ってくれたこともありました。はしゃぎ回ったりすることもなく、無事に過ごすことができました。

仲良し家族の中で

妹さんにとっての美智恵さんは「可愛くって仕方ない友だち」という存在だそうです。ずっとハンカチを噛んでいたのが今は歯がない美智恵さんのために、お母さんが作った料理をさざみ食にしたり、食事や入浴の介助をしたりしています。朝は、お母さんが編み上げた美智恵さんの髪に、可愛い髪飾りを付けたり、衣服などをコーディネートしたりもします。美智恵さんの身の回りのことをヘルパーさんのように一生懸命手伝い支えています。



美智恵さんもいろいろな要求をしっかりと伝えます。お茶が欲しい時は水筒を持ってきます。手つなぎの手を替えたい時は違う方の手を差し出します。「靴をはかせて」と足を出します。夜は声を出したり、はしゃいだりして一晩中寝ないことがあります。翌日はぐっすりと寝ています。とても健康です。

美智恵さんは、家で時々いたずらをします。よだれのついたハンカチをわざと妹さんのパジャマの籠に入れたり、足を踏み鳴らして部屋を歩き回ったり、机を叩いたり、突然笑ったり……。妹さんのご主人は、手が足りない時、美智恵さんにご飯を食べさせたり、着替えの手伝いをしたりしてくれます。チャボも美智恵さんが好きで顔を舐めにやってくる。美智恵さんの家族は仲良しです。

あらぐさへ

高等部の時、同学年のお母さんたちと「あらぐさへ行こう！一緒に行こう！」と話し合っていました。

まだ、ガイドヘルプ制度のない時代、土曜日学童などに誘われてみんなで遊んだ楽しい思い出があります。

今は、あらぐさの送迎車で通所し、帰りは家の近くで降りてお迎えの妹さんやチャボも一緒に遠回りし、30分程散歩して帰宅します。入学当時から歩行の力をつけることを心掛けてきたので、雨の中でも立って送迎車を待つこともできるようになり、「大助かり！」とお母さんは嬉しそうに話されます。

あらぐさでは染色の仕事をしています。ポーリングも大好きです。学校の実習生さんが来られると、喜んでとても張り切っています。

月1回、いろいろでショートステイもしています。お風呂が大好きで笑顔いっぱいです。

毎週土曜日には4時間の外出。きりしま苑のヘルパーさんとイオンに出掛けることが多いです。家近くのバス停からJR八重電車を使っています。こだわりはなく行動はスムーズですが、初めてのヘルパーさんだと座り込んで立ち上がろうとしないので、よく慣れた方と外出できるように配慮してもらっています。毎日よく歩くので、今では家から長岡天神駅まで歩けるようになりました。コロナ禍、「マスクを着けることはできません」というカードを作ってもらいましたが、難しいです。

お母さんの思い

家族仲良く、みんなで美智恵さんと楽しく生活できていることが何より幸せなことと思っています。あらぐさでは、特定健診も内科検診と合わせてできたり、コロナワクチン接種もできたり本当に助かり喜んでいきます。

お母さんの今の楽しみは、美智恵さんをあらぐさに送り出した後、町内のラジオ体操に参加することです。来年6月には、下海印寺に済生会病院ができます。工事が進むのを散歩しながら楽しみに見えています。



(取材：前田・森垣・真殿)



デイセンター2

竹生園の暖簾 (のれん)



長岡京市勝竜寺に本社を構えられる、高野竹工株式会社さんより、デイセンター2の染色作業に「暖簾」(のれん)の注文を頂きました。竹生園は長岡天満宮のすぐ近くにある、旧錦水亭の建物で、そこで、竹製品の展示・販売をされています。

今回は高野竹工さんに笹を提供していただき、それを染料に煮染めを行いました。普段は靴下やハンカチなど小さなものを染めることが多いので、大きな暖簾を染めるということでみなさん気合が入っていました。黄金色の染液に浸し煮染めることで、深みのある綺麗な黄色に仕上がりました。5月20日には建物見学も兼ねて納品をしました。自信を持って納品される姿はとても誇らしげでした。

今後も、製品を通して地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。



今年度も あらぐさりモートひろば を開きます！ (チラシをご覧ください)

製品紹介

ワークセンター

抹茶竹炭クッキー

1袋 200円/60g



抹茶竹炭クッキーのご紹介です。
以前販売していた竹炭クッキーを抹茶味にアレンジした製品になります。竹炭を混ぜ込んだ真っ黒な生地と抹茶が混ざった緑の生地を合わせてできた流行りの市松模様が特徴的です。お買い上げいただいたお客様からは「程よい甘さが良い」と好評を頂いております。抹茶竹炭クッキーは定番商品としていつでもご注文していただけます。

(※製造の工程に時間がかかるため、当日のご注文ですとお渡しできない場合もございます。)

この度、京都新聞社様より新しいオープンを購入するための助成金を頂きました。

クッキー工房も開所してから年月が経ち、色々なものが古くなり、不具合も出てきています。「そろそろ買い替える時期だな」と話していた所でのお話だったので、メンバーさんと職員ともに大喜びしました。新しいオープンが届くのを今か今かと楽しみにして待っています。

「創 17th(Re)～えがおの手しごと展～」を開催します！

日時：2021年10月2日(土) 正午～午後5時 (一般向け公開)

3日(日) 午前9時～午後5時 (一般向け公開)

4日(月) 午前9時～午後3時 (内部向け公開)

場所：長岡京市立産業文化会館1階

利用者さんが作られた、さをり・染め・フェルト等の作品を展示します。
コロナウイルス感染予防対策をしてお待ちしております。

(尚、開催期間に緊急事態宣言発出の場合は、中止とさせていただきますのでご了承下さい。)



「あらくさデザイン」の

ハンドクリームをいただきました！！

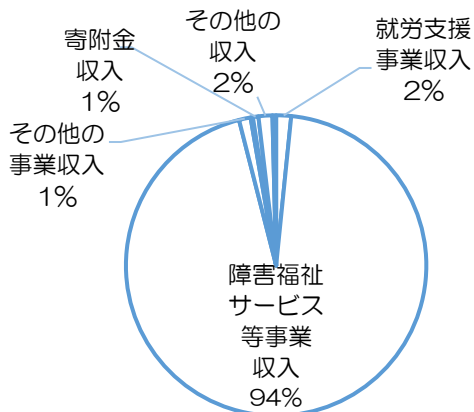


7月8日、京都イブニングロータリークラブ様より、コロナ禍で消毒液を使う事の増えた職員の手荒れケアにと、あらくさのマークがプリントされたオリジナルのハンドクリーム70本のご寄付をいただきました。クラブの皆様とは35年来のお付き合い。これまでも様々なご支援をいただけてきました。

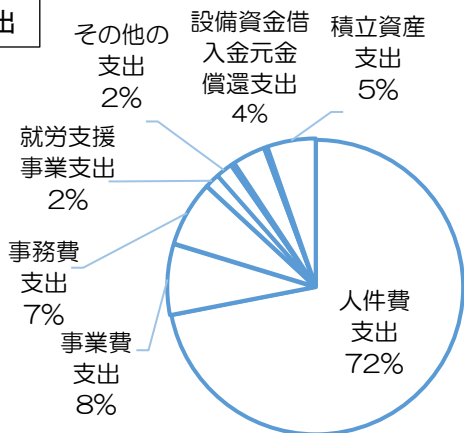
京都イブニングロータリークラブの皆様、ありがとうございました。

令和2年度 社会福祉法人あらぐさ福祉会 財務状況

収入



支出



(令和2年度の特徴)

障害福祉サービス等事業収入が約4億円となり、事業種別によりコロナウイルスの影響があったものの、法人全体では前年度より微増しました。これは利用者の増員や特定処遇改善加算、コロナ関連の補助金によるものです。一方で市町村事業の民間心身障害者福祉施設運営費補助金は昨年度より減額になりました。

支出の部では、人件費が72%と大部分を占めています。また設備資金借入金元金償還支出として総支出の4%の額を返済しています。

※財務表はホームページで公開

<http://www.aragusa-fukushi.jp/>

障害福祉サービス収入…障害福祉サービスに対する国・地方公共団体からの介護給付費

人件費支出…常勤50人非常勤80人

事業費支出…利用者活動に関わる支出

事務費支出…運営事務に要する支出

借入金元金償還支出…建物土地の借入金返済

あらぐさ福祉会 新役員・評議員

六月 任期満了に付き、次のように改選されました。
任期は、
役員(理事、監事)は一年、
評議員は四年です。

理事長 角 攝子
理事 小川貴士
理事 佐藤卓利
理事 永崎靖彦
理事 野々下靖子
理事 古川 拓
理事 山本弥生
理事 上村義美
監事 小坂文夫
監事 網谷億子

評議員

植田 進
荻野和雄
木下泰一
桐山俊宏
竹下 誠
中川千津子
丸岡正子
森本恒治
(五十音順・敬称略)



あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございます

(2021年4月1日～2021年7月31日 敬称略 順不同)

赤井綾子 赤城博子 芦田幸子 荒木まち子
 阿波谷陽子 栗野亜希子 栗野賢 飯山秀子 井垣
 優 生路智子 池内昌美 池田広子 井古テル子
 石田秀子 和泉昇 一谷孝 伊地知洋晃 伊地知
 有華 伊藤勝久 伊藤弘紀 稲葉薫 井上敏子
 射場隆 今井和子 今井正 今井千代子 今西
 さよ子 今村知佐 医療法人社団くぼた医院 医療
 法人社団松本クリニック松本恒司 岩倉美希 岩崎
 英雄 岩崎泰子 上田紗葵子 植田進 上野志保子
 株式会社魚国総本社 浦さち子 一般社団法人江後
 経営代表理事江後慎太郎 大泉裕子 大久保秀平
 大城まゆみ 大谷智子 大槻拓哉 大槻裕治 大坪
 晴美 大橋雅人 大橋祐子 大林雅子 岡よし子
 小川真寿美 奥田保 奥山禎二郎 小谷勝利 乙訓
 医療生活協同組合 乙訓地区労働組合協議会 乙訓
 手をつなぐ親の会 小野留美子 甲斐幸子 垣内
 望美 片山雅代 勝山宏一 桂誠司 加地祥志
 金子美智子 亀川義昭 河合隆平 川口淳子 河村
 幸子 神田千秋 菊井誠 岸陽子 北村弦 木村
 栄美子 木村忠 木村嘉男 久保節子 倉橋克之
 黒木サキ子 小池良一 粉川晴美 後藤邦子 後藤
 真由美 近藤健二 斉藤泰樹 崔本鐘光 坂下三良
 坂下佳子 坂本憲哉 坂本靖子 株式会社坂本建設
 桜田吉昭 佐々木康二 佐々木久子 佐名木良実
 佐野顕治 澤月子 塩満喬子 重松悦子 篠原茂
 柴田和泉 下尾医院下尾和敏 白石直子 鈴木純子
 すずき内科クリニック鈴木元 角誠一 角攝子
 住田珠江 住田初恵 瀬川光子 瀬川良介 関節子
 高木夏季 田上玲子 高橋久美子 滝川典生 竹澤
 哲夫 竹下久美 竹下誠 武永健二 武山彩子
 田坂靖子 多田久美子 立山純治 建山昌子 田中
 正恭 田中礼子 谷口忠行 谷口弘子 玉井紀子

玉木洋子 俵福造 丹野かほる 丹野直次 塚上
 公治 津田拓也 土岡ひとみ 寺内寿 寺岡敬博
 天照教 東宮健史 富島ますみ 富永洋子 内藤
 時子 内藤敬子 有限会社長岡美装社 長岡天満
 宮社務所 中川美智子 永崎みさと 永崎靖彦
 中路克介 司法書士中西正人 中野円 中野史子
 中野司 中村隆雄 中村文子 中村雄策 中本
 式子 中山恵美子 中山千恵子 夏川久子 西
 幹男 西井美千代 西田政子 西村秀晴 野崎
 清子 長谷川朋子 畠中清子 畠中勇治 八田
 萬喜雄 馬場かね子 浜野利夫 浜野紘久 林
 英夫 林広子 原木とし子 春田石油有限会社
 菱田葉子 平井多津子 平野みどり 平山功
 廣瀬彩子 広瀬美砂 深見昇次郎 福島和子
 福山八千代 藤井久子 細井創 細井雅代 細井
 のぞみ 前川明雄 前田幸子 前田真之介 前田
 仁 榎井良子 増田尚 増田靖子 町田摂子
 松浦佳織 松岡幸子 松岡稔 松島朱美 松中
 真沙美 松永里子 松村昭子 松村美代子 松山
 幸次 丸山彰子 三木孝子 水谷和夫 水谷美穂
 三谷文菜 三橋真子 三宅直人 三宅善昭 宮崎
 俊一 宮島節代 宮田啓子 三柳美里 宮本史朗
 村井悦予 村上久代 村瀬真里奈 村山容祥 森
 清 森川浩世 森下純平 森下洋子 森本達也
 守屋伸江 八木幸一 八木弘行 安井冽 安井
 芳幸 安田耕治 安田隆 山口計子 山口隆史
 山口武彦 山口都子 山崎諭 山下敏夫 山下
 紀子 山田陽子 山中繁 山中章二 山本真弓
 山本義則 山本恭子 横川和男 横川喜美江
 横川安子 吉岡恭子 吉田治子 吉永純 吉村
 龍二 米村久美 療術院うえの上野徳太 渡辺
 裕子 匿名 25名

2021年度 後援会費納入とあらぐさ支援募金をよろしくおねがいします

あらぐさと私



障害福祉センターあらぐさ 職員

高木 夏季 さん

(たかぎ なつき)



2021年4月からBグループに所属しております、高木夏季と申します。

私が福祉職を目指そうと思ったきっかけは、自分自身の経験からでした。私は大学卒業後、教育関係に就職し、その時の過重な労働時間と責任、慣れない人間関係に悩み、心身の体調を崩してしまいました。その後すぐに退職しましたが、精神的に長い間苦しんできました。そして少し落ち着いたころ、自分自身の経験が、他の誰かの役に立つのではないかと思い、専門的に精神保健福祉士を目指そうと思いました。そこで専門学校に入学し、精神保健福祉士となりました。

あらぐさと出会ったのは、就職活動時に訪れた福祉就職フェアでした。今まで培ってきた福祉の学び、視点を精神保健分野に限らず、どのように活かしていけるのか模索中でした。そんな中、早速あらぐさへ施設見学に訪れました。施設の明るい雰囲気や、豊かな活動内容、自主製品に惹かれ、

ここで働きたいと思いました。そして自分自身に何が出来るのか、実践現場から考えを深めていきたいと感じました。

現在はBグループに所属し、数か月が経ちました。はじめは利用者の方との距離感や関わり方等、戸惑うことが多くありましたが、今では少しずつ関係性が構築出来ているのではと感じる瞬間があります。それは私にとって大きな励みであると実感しています。毎日、試行錯誤の連続ですが、この一瞬一瞬を大切にしたいと感じています。また今までの歴史や歩み、実践を学ぼうとする姿勢を大切に、職員の方に対して自分の考えを発信していけたらと思っています。そして、福祉職員としての自覚を持った支援の在り方、関わり方を勉強していきたいです。

慣れないことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

1992年6月5日 第3種郵便物承認 (毎月1回25日発行) 2021年9月15日発行
KTK増刊通巻第5164号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会
〒602-8144 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階
京都障害者連合 発行人 高谷修 頒価50円 (購読料は会費に含まれています)

KTK

あらぐさ通信